



佐藤 博 議員

後期高齢者医療保険制度の 自己負担、最高額見直しを

問

後期高齢者医療保険制度の矛盾点について質問する。

(1) (制度)不満による脱退や保険料滞納はないか。

(2) 高額保険料を支払って
いれば、受診時の3割負担を軽減するか、この保険料の最高額は50万円だが、

少なくともその半額以下を上
限という見直しを検討し、
市として独自の対策を速や
かに講じてほしい。

財政負担となり 非常に難しい

答 民生部長

(1) 20年度の制度実施当初、
保険脱退の申し出は何件かあ
ったが、この市民も現制度へ
加入している。

8月末現在、20年度賦課

分の収納率は99.4%である。

答 保険年金課長

(2) 自己負担をなくせば大きな
財政負担となり、今後の医療
制度の改革、高齢化を考
えると非常に難しい。

また保険料の50万円を
超える部分は、限度額超過
の時点で軽減を加える制
度となっている。

県後期高齢者医療広域連
合は、さらなる減額は考
えていないと聞いている。

海部土地の 農家負担削減を

問

海部土地改良区(鎌倉地
内)について聞く。

(1) 業務内容

(2) 職員数、人件費

(3) 他の土地改良団体が行
っている業務と重複してい
る業務もある。
改めるところは改め、農
家の経費負担削減を市が
(構成市町村や土地改良
関係団体に)提案すること
も大事な問題ではないか。

団体の中で話し 合ってほしい

答 開発部長

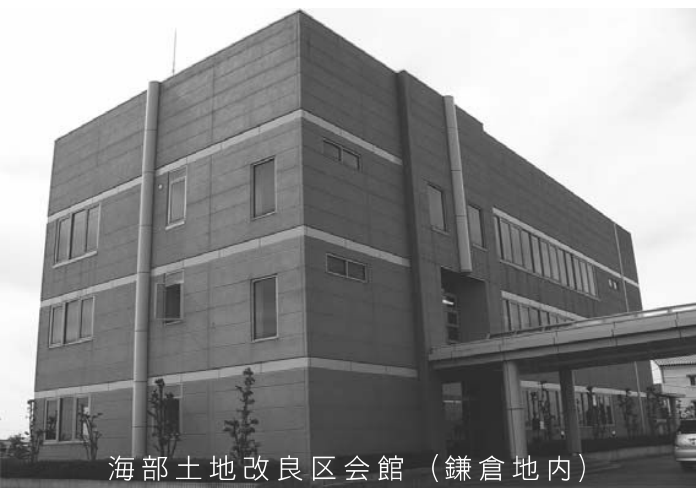
(1) ①農業用水
と排水施設の維持
管理と新設②
木曾川用水地区
の地盤沈下対策
(パイプライン事
業)③農地の保
全④施設の災害
復旧等である。

(2) 21年度の
職員は13人、
人件費1億2、
270万円である。

答 市長

(3) 農家の賦課

金は10a当たり2、400
円から5、320円で、大
きな負担である。
しかし、負担の問題は土
地改良区にいる理事の中
でしっかりと話し合いをし、
それぞれの考え方を農家に
向けていく、そういう時代
になったことは確かだと思
う。
それに対して、行政とし
てできることはアドバイス
していきたい。



海部土地改良区会館 (鎌倉地内)